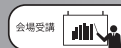


PDCAを実践しても成果がほとんど上がらない方、

早い意思決定とスピーディーな業務遂行で仕事のリードタイムを短くしたい方へ



問題解決の速度と精度を上げ、PDCAのすき間を埋める

「OODAループ」活用研修

と き 2024年 10月 17日(木) 9:30～16:30

開催形式 会場(中産連ビル 研修室) または オンライン(ZOOM配信)

～不連続不透明な時代と相性が良い“新しい問題解決”の進め方を実装する！～



対象者

●すべてのビジネスパーソン

研修のねらい

1. 変化に対し、計画を逐次軌道修正してスピード感と柔軟性を持ちあわせた業務遂行ができるようになる
2. 想定外というPDCAでは対応が間に合わない事案に対し、適切で効果的な打ち手が講じられるようになる
3. 必要に応じて適宜状況対応できる業務の進め方(OODAループ)を取り入れ、PDCAとの相乗効果をねらう

OODAループは有事(想定外)・PDCAは平時(想定内)の業務運用で活かす！

最近OODAループという言葉を目耳にする機会が増えました。

OODAループはアメリカ空軍のジョン・ボイド大佐が提唱したものです。朝鮮戦争(1950-53)で消耗戦を繰り広げ、膠着状態にある中、迅速に意思決定して戦況を有利にする機動戦を展開するために実行した戦術です。OはObserve(観察する)、OはOrient(仮説をつくる)、DはDecide(決定する)、AはAct(行動する)を表し、ループ(Loop)によって“挑戦課題に対し様々な試行錯誤をしながら、精度をらせん状に高めていく”という意味です。

似た概念に皆さまもご存じのPDCAがあり、よく比較して言及されます。しかし、日本でOODAループが必要と言われ始めたのはごく最近(*欧米の先進企業ではすでに導入)のことで、その理由は「PDCAの業務遂行では早い変化に臨機応変に対応できない」、「計画中(P)や実行中(D)に外部環境が変化し、その影響で自業界や自社も大きく変化を迫られ、ゼロベースでの見直し×迅速かつ柔軟な対応をしないとイケない…」、ということであり、このような時に最適な局面打開への施策と有効な意思決定に効果を発揮するのがOODAループと言われています。

例えば、

- ① 経営層から末端社員まで、今まで前例の踏襲や他社の模倣でビジネスを展開してきた
- ② 情報収集や分析に延々と時間をかけすぎて迅速な意思決定ができず、好機を逃している
- ③ できないことの反省や改善ばかりの減点主義、後ろ向きの責任追及が横行している
- ④ 仕事に完璧さを追求しすぎて、仕事別に注ぎ込む時間の濃淡がつけられていない(時間や効率は二の次)
- ⑤ 過去の成功体験から抜け出せず、失敗は評価を下げることになるので、大半が保守的で指示待ちになっている
- ⑥ 社内会議や上司向けの資料作成で忙殺され、新しい取り組みは後回しどころかほぼ何も進んでいない状態

以上のようなことが依然多くの国内企業で起こり、それが“先進国最低レベルの生産性”という不名誉な烙印を押される形になっています。

◆ OODAループを業務で運用すると機動力、軌道修正力、利害関係者の巻き込み力が上がる！

まず、日本の組織では“一度決めたことを最後までやり切ることが是”とされる風土を持つ企業が多く、上記のように急な環境変化に対して、「迅速かつ臨機応変な対応できない」「早い段階で効果的な打ち手を出せないため、その後取り返しがつかなくなる」「誰も自分事として向き合わずそのまま放置する」、ということが往々にして起こります。しかし、もはやこのような行動様式では、企業の存続は大きく危ぶまれます。

実際、OODAループを自社に導入して現場で活用している組織では、

- ① 一人ひとりが自分で考えて組織にとって適切な行動が取れる自律自走する組織に変容し、機動力と生産性が加速度的に上がった
- ② 社員一人ひとりの目線が社内から社外(業界→国内→海外)へと変わり、自ら幅広い知識と情報を自主的に収集し、仮説を持てるようになった
- ③ 想定外の出来事が起きても、一人ひとりが冷静に対応し、軌道修正して最終的にはしっかり成果を出せるようになった
- ④ 社会問題の解決と自社事業を紐づけて考えることができるようになり、多種多様な利害関係者を巻き込めるようになった

このようなことが挙げられます。実は OODAループとPDCAとの相性はバツグンで、OODAループをPDCAと併用することによって有事に強い企業活動が可能になります。

実際、PDCAとOODAループは不連続不透明な時代の業務遂行において不可分の関係であり、「車の両輪」のような存在です。平時ではPDCAを回し、業務が行き詰まったり、思うように進まなくなった時にはOODAループに切り替えて様々な施策を打った後、また平時に戻ったところで再度PDCAを回す、という「社員一人ひとりが自ら考え行動」し、自律自走できる組織を醸成していく上でOODAループの実践は大きく役に立ちます。

日本企業は海外企業と比較して戦略不足と言われがちです。しかし、OODAループを実務で活用できるようになれば、国内市場では相対的に優位に立て、海外市場でも十分に戦える機動力と即時対応力を備えることができます。

つまり、OODAループを実践して活用する力は不連続不透明な時代における企業の持続的な成長力と言っても過言ではありません。本研修でOODAループの活用法を身につけ、混迷の時代の業務遂行にぜひお役立てください。

◆研修プログラム（9:30～16:30）

1. はじめに ～ 不連続で不透明な時代に求められる力

(1) **ワーク** 不連続で不透明な環境にどう対応するのが適切か？①

(2) 不連続で不透明な時代とその事象

(3) **ワーク** 不連続で不透明な時代の特徴とビジネスに与える影響

2. OODAループが注目されるワケ

(1) OODAループとは？(概略)

(2) 解決したい問題とOODAループの使い方

3. 違いでわかるOODAループ ～ PDCA・マニュアルとの比較

(1) 違いでわかるOODAループ ～PDCAとは？マニュアルとは？

(2) **ワーク** 不連続で不透明な環境にどう対応するのが適切か？②

(3) 計画第一・マニュアル第一の課題

4. OODAループ実践の基本

(1) OODAループ実践上の基礎知識

(2) **ワーク** 事象をどうとらえ、OODAループを活用するか？

(3) 事象の2軸でのとらえ方と、その対応の基本

(4) 事象のとらえ方と目的との関係

(5) **ワーク** 不連続で不透明な環境にどう対応するのが適切か？③

(6) 方針の必要性と世界観VSAへのブレイクダウン

5. OODAループの導入が効果的な業務

(1) OODAループ実践事例

(2) **ワーク** OODAループはどんな業務に向いているのか？

(3) OODAループの導入が効果的な業務

6. OODAループ実践上のポイント

(1) **ワーク** 事例から実践上のポイントを考える

(2) 想定される問題

(3) 解決策検討の方向性 ～問題から課題への転換

7. 総まとめ ～OODAループを導入して、何を実現するのか？

(1) 改めてOODAループを活用する目的は何か？

(2) 「決められたことだけをやる」から「考案しながら実践し、成果も抽出する」へ

講師

中産連パートナー講師（ビジネスコンサルタント）

大学卒業後、出版・通信教育会社にて教育サービスの事業責任者、サービス共通基盤開発などのメガプロジェクトの責任者を担当。コンサルタントとして独立後、幅広い業務領域での実務経験を通じて培った「OODAループ活用」「クリティカルシンキング」「統計活用」「データ分析」「業務構築」等のノウハウを活かし、意思決定、経営分析、業務分析、業務構築・リエンジニアリングの社員教育など、企業向け支援を中心に活動する傍ら、国立大学法人にてデータサイエンス、教育測定・評価論の講座を担当している。また、国内最大手のビジネススクールの講師、ウェビナーサイトUdemyでも講師を務め、本研修テーマに関連した情報（データ）分析による課題発見力&仮説構築力のセミナー受講者は既に1万人を超えている。アクティブ・ラーニング手法による受講者と双方向で進める研修は、丁寧な説明と実務に直結したケーススタディとの併用により学習意欲が引き出されると好評。

問題解決の速度と精度を上げ、PDCA のすき間を埋める「OODA ループ」活用研修（10/17） 参加要項／参加申込書

参加費（1名様）

セミナー受講のみ	中産連会員	中産連会員外
36,300円(消費税込)	47,300円(消費税込)	41,800円(消費税込)
フォローアップ(事後行動支援)付き★	52,800円(消費税込)	

申込方法

●中産連ホームページの各セミナー詳細よりお申込みください。(https://www.chusanren.or.jp)
申込みが完了しますと、申込責任者のメールアドレスに「申込完了メール」が届きます。
●FAXでのお申込みも可能です。下記申込書に必要事項を記入の上、切り取らずに送信してください。
●フォローアップ(事後行動支援)を希望される方は下記申込書の欄に「レ」を入れてください。
※コンサルタント及び教育機関の方のお申し込みはお断りしております。ご了承ください。

受講までの流れ

<会場受講の場合>
受講票と請求書を開催日の約2～3週間前に申込責任者宛へ郵送します。
<オンライン受講の場合>
①開催日の約1週間前になりましたら、「参加用URL」「ミーティングID」「パスコード」をメールにてご案内します。
②テキストと請求書は開催日の約1週間前に申込責任者へ郵送します。
【オンライン受講の注意事項】
・配信システムはZoomを使用します。Zoomがインストールできるカメラ付きパソコンをご用意ください。また、イヤホン付きマイクのご使用を推奨します。
・接続が切れないよう有線のLAN環境での受講を推奨します。また、接続先環境に起因する音声・映像障害などについては保証しかねますのでご了承ください。
・IDを共有してのご利用や、画面を投影してのご利用など、参加者ご本人以外のご利用はお断りします。
・研修の撮影・録音は固くお断りします。

キャンセルについて

お客様のご都合によりキャンセルされる場合には、以下のキャンセル料を申し受けます。
・会 場 受 講 の 場 合 ： 開催日の前日（土日祝日を除く）・当日・・・受講料の100％
・オンライン受講の場合 ： テキスト発送後（開催日の約1週間前）・・・受講料の100％
※テキスト発送日はセミナーにより異なりますので下記担当者へご確認ください。

申込み・問合せ先

一般社団法人中部産業連盟 マネジメント研修事業部 小橋川
〒461-8580 名古屋市中区東区白壁3-12-13 TEL：052-931-9824 e-mail：kohashikawa@chusanren.or.jp

会社名

〒

所在地

TEL

FAX

参加形態	フォローアップ (事後行動支援) を希望(✓)	参加者 所属部課・役職名	参加者氏名(フリガナ)	年齢	E-mail アドレス
☐ 会場 ☐ オンライン					
☐ 会場 ☐ オンライン					
☐ 会場 ☐ オンライン					
申込責任者 所属部課・役職名		申込責任者氏名(フリガナ)		E-mail アドレス	
会社概要	業種(主要製品名)	資本金	従業員数	今回ご記入いただく個人情報は、セミナー等の運営・情報提供(郵便、メール、FAX等)においてのみ使用致します。 詳細は当連盟HP(http://www.chusanren.or.jp/privacy/index.html)をご覧ください。 同意のうえ、ご協力をお願い致します。関連情報が不要の場合には下記に①点のご記入をお願い致します。 ☐ セミナーなどの関連情報の案内を希望しない	
		百万円	人		
中部産業連盟会員(○印をお付けください)		会員 ・ 会員外			

一般社団法人 中部産業連盟

中産連

FAX 0120-342-340

マネジメント研修事業部 小橋川 行
セミナーNo.4823